

特殊詐欺・SNS型投資 ロマンス詐欺が多発!

次の事例は実際にあった犯人からのたましの言葉です!

【事例①】～犯人からの突然の電話

「●●警察の▲▲です。マネーロンダリング事件にあなたの口座が使われている。あなたが容疑者になっている。保証金を払えば容疑が晴れる。」

※犯人はテレビ電話等で偽の制服姿で警察手帳、逮捕状を示す場合もあります。



【事例②】～パソコンを使用中 「ウイルス感染」と警告画面が表示

警告画面に表示された電話番号に連絡すると「ウイルス除去にはアップルギフトカードをコンビニで買ってカードのコード番号を入力して。」

※その後、「入力エラーになったとの口実で繰り返し、同カードを購入させます。」



【事例③】～マッチングアプリで知り合った 女性とのメールでの通話

「ビットコインに投資をしない? ●●という投資サイトに登録してほしい」「副業しない」など

※犯人は、時間をかけて関係を築いた後、このように誘導します。



このような電話や警告文、勧誘があった場合
には詐欺を疑い警察へ早めの相談を!